

療養環境を提供致します。  
私たちは、良質で安全な医療と

# オアシス OASIS

2018年 春号

愛友会 上尾中央第二病院 季刊誌 ●URL <https://www.ach2.jp/> ●TEL: 048-781-1101

## 全身管理の専門家を目指して

2016年9月より当院に勤務しています腎臓内科の赤芝です。私は上尾市の隣の旧大宮市の出身で、生まれから高校卒業までを同地で過ごし医師としての経験を積み、8年前に再び埼玉に戻ってきました。

当院で私は腎臓内科の医師として、主に透析医療を担当していますが、透析医療はやや特殊な分野であるため選択した理由を聞かれることが多いのです。実は医師になった当初腎臓内科には全く興味はありませんでした。医学生時代の頃から循環器疾患に興味を持っていたため、国家試験合格後は迷わず循環器内科に入局しました。ところが私の勤務する大学病院には腎臓内科が存在せず循環器内科が腎臓内科の業務を兼務していたため、図らずも循環器と腎臓の両方を担当することになったのです。都会とは異なり医療過疎の地方の大学病院ゆえ、どの診療科も野戦病院のような様相の中で、私は循環器と腎臓それぞれを一手に診るといった想像を絶する激務が続きました。急性心筋梗塞の患者さんの緊急カテーテル治療を行いながら、一方では別の患者さんの緊急透析を行う…。当直では一睡もせず働き続けるのが当たり前の日々だったのです。

その私に転機が訪れたのは研修医1年目の秋のことです。医局では数少ない腎臓系の先輩医師が私の指導医となりました。彼の指導の一つに毎日夕方になるとICU（集中治療室）から病院中の各病棟を巡る日課がありました。腎臓という臓器は侵襲に非常に弱く、別の臓器の疾患や手術の影響などにより容易に障害（急性腎障害）を起こします。それを併発した各科の重症患者さんに対して治療のアドバイスをしたり、一緒に治

療をしたり、時には循環器内科に連れていくこともあり。急性腎障害があるとはいえ、多発外傷や重症肺炎や腹膜炎術後の患者さんまで循環器内科病棟に連れて帰り私達二人だけで治療するようなこともあり。治療と言っても腎臓を直接治す薬剤はありません。引き金となった原疾患を治療しつつ、血液検査、画像検査、血圧、脈拍、呼吸、身体所見から正確な循環動態を把握し、適正な薬剤使用と輸液管理を行い全身の環境を整えること一つつまり全身管理が治療となります。「腎臓内科は全身管理の専門家」というのが彼の口癖でした。毎日根気強く治療を続けた結果、上がり続けていた尿素窒素とクレアチニン値がある日0.1ポイント下がった！この喜びは腎臓内科にしか分からないと思います。地道に全身管理を続けていくことが回復力に繋がり、周囲の人達から回復は不可能と思われた患者さんが歩いて退院していくことを何度も経験しました。ドラマのような華やかさは無くとも人を救うことができる。その指導医に憧れ、私は腎臓内科の道に進むことを決めたのです。

透析医療の原点は全身管理と言っても過言ではありません。血圧低下を取っても、体液量の不足なのか、血管の収縮不足なのか、心機能の低下か、間質からの体液の戻りが悪いのか…。ただ闇雲に昇圧剤を使用するのではなく、患者さんの体内で何が起きているのかを正確に把握して適切な対応を施すこそが本当の透析医療です。これまで培った知識と経験を生かし、患者さん達に末永く安定した透析治療を続けていただけるよう取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

腎臓内科 赤芝 聖



鬼は～外！元気に鬼を退治できました！

ボランティア・レクリエーション委員一同：記



## 節分

1月22日(月)

節分をテーマに鬼の的あてゲームを行いました。楽しいひと時も終わるころ、2人の鬼が登場!! 鬼に圧倒されながらも、豆まきをして鬼退治をし、最後に豆まきの歌を歌って、みんなで厄を払い、福を迎えることができました。



## おたのしみ会

## ひな祭り

2月27日(火)

もうすぐひな祭り。待ち遠しい暖かな春もすぐ目の前までできましたね。そんな春らしい雰囲気の中、今日は3月のカレンダーづくりをしました。一足先に春を迎えられたような暖かなひと時となりました。

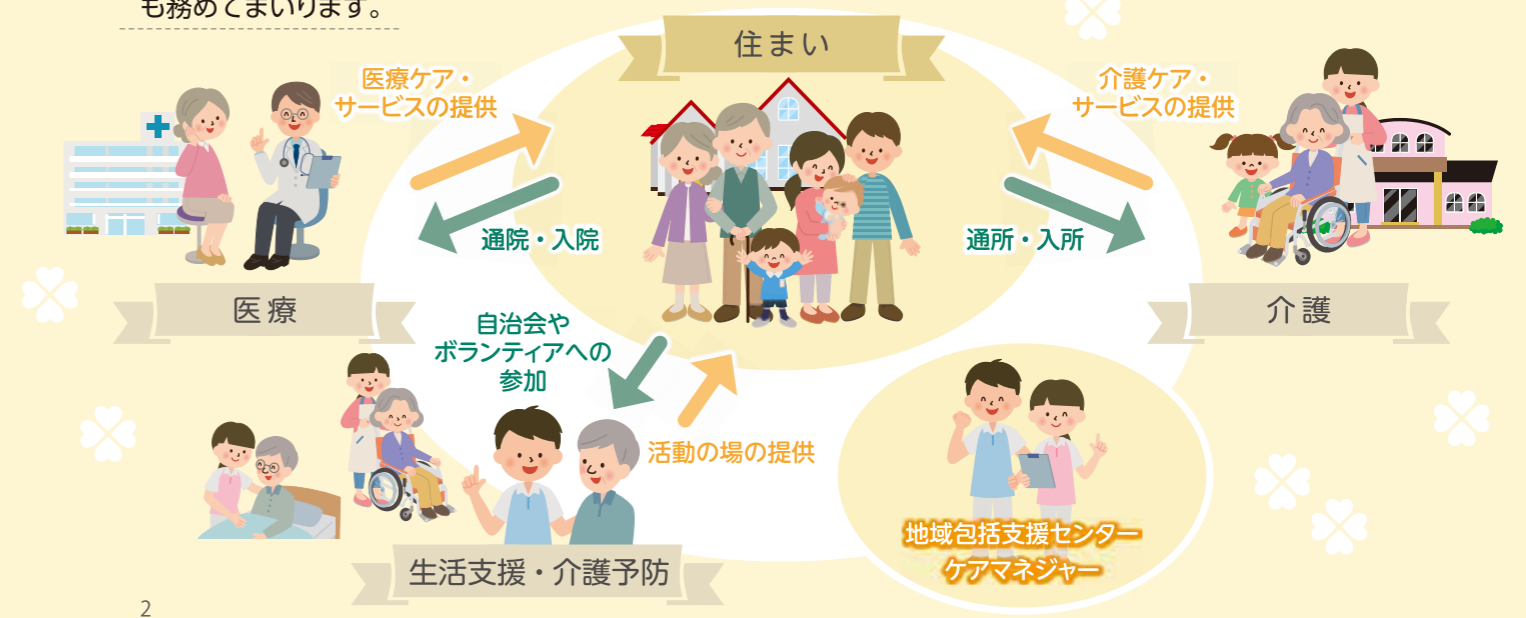


ひな祭りにちなんで、一人一人違うオリジナルのカレンダーが出来ました

## 新病棟編成変更のご案内

厚生労働省では、2025年にピークを迎える深刻な少子高齢化社会に向けて「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。当院も将来を見据えた上で、地域医療に更に貢献することを目的として2月1日より病棟編成の変更を行いました。地域にお住まいの患者様・御家族様が安心して医療・介護サービスを御利用していただけるようこれからも務めてまいります。

新病棟編成	
療養病床	88床
障害者病床	51床
回復期リハビリテーション病床	32床
ホスピス病床	15床





# 認知症と作業療法 第二回 市民公開講座を終えて

作業療法士

木村 亮太 長内 瑞希 加藤 日菜 清水 直美

皆さん楽しそうに音楽に合わせて体操をしました。



皆で話し合いながら文字の並び替え。脳の活性化が図られました。



間違い探し中！皆さん集中して取り組んでいます。



2月13日開催の市民公開講座には、31名の地域の皆様にご参加頂きありがとうございました。今回の公開講座のテーマを「認知症と作業療法」とし、当院の作業療法士4名で参加させて頂きました。講座の前半では、作業療法が担う仕事内容として家事や趣味・運動等の様々な活動を通してリハビリを行っているという事を伝えさせて頂きました。また、上尾市の認知症の現状を伝えさせて頂き、認知症の予防として実際に当院で用いているリハビリ内容をお話させて頂きました。

講座の後半では、認知症予防に繋がる作業を、実際の体験を通してお伝えしました。内容としては、机上で行える間違い探しや文字の並び替えをグループで協力して行って頂き、周囲と交流する時間を過ごしました。また、認知症に有効とされている「コグニサイズ」や「もしもし亀よ」等の童謡を歌いながら、手足を動かしながら楽しみつつ脳の活性化を図りました。

参加者の皆様からは「楽しかった」「良い運動になりました」「作業療法士のこと、認知症のことを改めて知れて勉強になりました」など、有り難いお言葉を頂きました。参加者の皆様のたくさんの笑顔を見る事ができ、私達にとっても有意義な時間となりました。今後もこのような公開講座を通じて皆様と交流する機会を設け、より一層地域に貢献していきたいと思っております。

## 上尾市健康診断のご案内

5月から上尾市の特定健診・後期高齢者健診・人間ドック・個別検診を予約制にて開始いたします。お手元に受診券が届きましたら、お早目のご予約をお勧めいたします。



- 上尾市特定健診・後期高齢者健診  
平成30年5月2日～10月31日
- 国保人間ドック・後期高齢者人間ドック  
平成30年5月2日～平成31年2月28日
- 大腸がん検診・前立腺がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診・20～30歳代ヘルスチェック・一般健康診査  
平成30年5月2日～11月30日

受付時間	月	火	水	木	金
ドック	①8:40 ②9:00	○	○	○	○
健診	9:00～11:30	○	○	○	○
	13:00～16:30	○	○	○	○



年に1度は健診を受けましょう!

一お問い合わせ・ご予約  
048-781-1902  
048-781-1101  
月～金曜日 9:00～17:00



ホームページをリニューアルしました

みなさん見てください!

上尾中央第二病院

検索



去る2月7日から9日までの3日間、埼玉県看護協会が主催する再就業技術講習会(復職支援)が当院で行われました。みなさんは、潜在看護師という言葉をご存知ですか? 潜在看護師とは、子育てや介護などを理由に離職して現在は働いていない看護師のことをいいます。厚生労働省によると、我が国の潜在看護師はおよそ71万人いるといわれています。このような方々が、復職する前に看護技術の演習や病院での見学実習を行うのが復職支援です。今回の参加者は1名で、注射や喀痰吸引等の演習や療養病棟での見学実習をしていただきました。看護部では、当院主催の復職支援も行っています。こちらは、当院のホームページからいつでも申し込み可能となります。私たちは、このような活動を通じて潜在看護師の復職を応援しています。 広報委員 堀 恵津子

### 編集後記

新緑の候 心地よい季節となって参りました。卒業や入学、就職などで新生活を始められた方も多いのではないでしょうか?

個人的な話になりますが、私もこの春で当院に勤め、ちょうど1年になります。職場の先輩スタッフ、患者様や家族の方からの支えがあり、この1年やってこれたと思っています。毎日忙しい日々ですが自分なりに今できることを頑張っていこうと思っています。

早いもので看護師になり



今年で6年目になります。仕事で悩んだ時は“他人と比べず自分の良いところを伸ばして成長していけば良い”とよく親から言われ励まされてきました。もちろんその言葉が全てではありませんが、その言葉を支えに仕事をしてきました。

4月からまた新人の入職の方が入って来られますね。この1年職場の仲間を支えられてきた分、今年は自分が入職者の方や患者様の力になればと思います。この4月から新しいスタートとしてこれから共に頑張りましょう。

広報委員 1階病棟 成田 真里亜